

手軽に
ごみ減

段ボールコンポストの使い方



段ボールコンポストとは？

段ボールを容器に使う「生ごみ処理器」です。
段ボールは通気性が高く、
微生物が活発に活動できるので、
生ごみが醗酵し堆肥となります。



①用意するもの

市から支給するもの(1セット)

- 段ボール(2重構造)
- 生ごみダンボールの素(25ℓ)
- 醗酵促進剤(2ℓ)
- 底敷き段ボール

※段ボールの傷みが気になるときは
同程度の大きさものに移し変えてください。



家庭で準備するもの

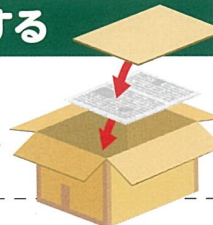
- 新聞紙(1日分) ●プラスチック製のスコップ、おたま



②コンポスト容器をセットする

1 新聞紙→底敷き 段ボールの順に 敷きます。

底に新聞紙を敷き、
その上に底敷き段ボールを
敷いてください。
箱が壊れにくくなります。



2 通気性を良くするために、 容器の下に台を設置します。 ※金属網や角材などを使って台を つくります。

ビールケースなどの
コンテナケースや、
苗床も台に適しています。

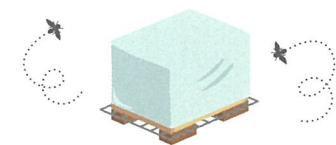


上下左右、風通しを良く

3 防虫布カバーで容器を覆います。

※虫や小バエが容器の中に
入り込むのを防ぎます。

●寒い時期は不要な毛布等をかけると
保温できます。



③基材(きざい)をつくる

2つの素材を2つとも最初は
半分程度入れ、水を500cc位
加えて均一に混ぜ合わせれ
ば準備完了です。
その後、生ごみの
量の増加に合わせて、
残りの素材を
徐々にに入れてくだ
さい。

基材を
半分入れて
よ〜く
かき混ぜる!



④生ごみを投入する

- 1日あたりに投入できる量は**500~700g**です。
(三角コーナー1杯程度)

※生ごみは早めに容器の中へ!

- 大きい生ごみは小さくして入ると分解しやすくなります。
- 生ごみは適度に水気を切って投入します。



ここが ポイント

- よくかき混ぜる
- 基材がバサバサに乾燥しているときは、
コップ1~2杯程度の水を入れる。

※微生物による生ごみの分解には水分が必要です。

基材が**ほんのりと湿っている状態**を維持してください。
水分が多すぎると、分解が遅れ、カビの発生や段ボールを
傷める原因となりますのでご注意ください。



好き	苦手	嫌い	興味なし
甘いもの お菓子 果物 油っこいもの ぬか 肉・魚 天カス 新鮮なもの	酸っぱいもの 塩辛いもの 玉ねぎの皮 とうもろこしの芯 腐ったもの	洗剤 煙草の吸殻 竹の子の皮 カレーのルーは 元気がなくなる	プラスチック類 割り箸 爪楊枝 貝殻 間違っって入ったら つまんで取り出して

⑤毎日の管理

開始して**2週間程度**で分解が本格化し、徐々に温度
が上昇します。

- 微生物は空気と触れることにより、生ごみの分解を進め
ます。ごみの投入が無い日も、すみずみまで新鮮な空気
を送るようによくかき混ぜましょう。
- 生ごみが表面に出ていると臭いや虫の発生につながり
ます。動物性ものは基材の中に隠すようにしましょう。
- 防虫・防臭のため投入時以外は、布などで覆います。

MEMO

雨や湿気で
容器が
傷んだら

日に干せば回復し
ますが、傷みがひど
い時はスーパーな
どで新しい段ボ
ールをもらって移し
変えようといです。



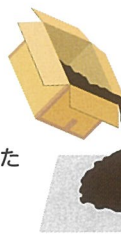
使用者の方に伺った成功のコツは「よく混ぜること」でした!

⑥使用期間について

1箱で約**3ヶ月**くらい使用できます。
生ごみの量にして約30~45kgを
処理することができます。

終了の目安

- 分解に時間がかかるようになった
- 全体的に黒っぽく、もっちりしてきた
- 中身がベタついてきた
- 塊が多くなってダマの状態になった



MEMO

長持ちさせたい

新聞紙やビニール
を敷いた上にコン
ポストの中身を出し
て上下を入れ替え
るともう少し長く使
えます。



⑦堆肥として使うには

生ごみの投入を止め、**1週間**くらいは残った生ごみを分解
させるため**毎日**かき混ぜます。(乾燥したら水分補給を)
その後**1~2ヶ月**ほど**放置**して**熟成**させれば堆肥として
使えます。土に埋めて熟成させてもOK!

注意
未熟な堆肥の
使用は根腐れの
原因になります。



⑧第2期の開始

第1期の終了が近づいたら第2期の準備を始めましょう!

第1期の中身(分解しづ
らい物も)を少量、第2期
の段ボールに入れ、かき
混ぜると微生物が引ッ
越すことができるので、
醗酵が早まります。



連絡先

宇佐市 生活環境課 リサイクル推進係
宇佐市大字上田1030番地の1
TEL.0978-27-8133(直通)